

成人おめでとうございませす



このページの写真は昨年の成人者の皆さん

成人式

◎日時：1月13日(日)

午後1時30分から

◎場所：甘楽町文化会館

新成人者名簿の公表は
控えさせていただきます



～新成人の皆さんへ～ 20歳になったら国民年金

■ 住民課住民係 内線264

世代と世代の 支え合いの仲間へ

国民年金は、年老いたときやいざというときに、働いている世代みなで支えようという考えで作られた仕組みです。

日本国内にお住まいの20歳から60歳までの全ての人が入ることが義務づけられています。

◎**老後のためだけのものではありません**

国民年金には、年をとったときの「老齢基礎年金」のほか「障害基礎年金」や「遺族基礎年金」があります。

今の“まさか”に	将来の“まさか”に	老後の“安心”に
障害基礎年金 病気やけがなどで障がい者になった際に受け取る年金	遺族基礎年金 一家の働き手が亡くなった際に、家族や子どもが受け取る年金	老齢基礎年金 65歳になったら生活費の一部として受け取る年金

◎**保険料は必ず納めましょう**
もし保険料を未納のままにしておくと、障害基礎年金や遺族基礎年金が受け取れない場合があります。

学生納付特例制度	学生の方は、一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、在学期間中の保険料の納付が猶予されます。対象は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校（就業年限1年以上である課程）などに在学する人です。
納付猶予制度	50歳未満の人（学生以外）で、働いていないなどの理由で生活に余裕がない場合に、本人・配偶者の所得が一定額以下の人は、保険料の納付が猶予されます。
免除制度	失業や災害など経済的な理由で保険料を納めることが難しい場合、本人・配偶者・世帯主の所得が一定額以下の人は全額もしくは一部の保険料が免除されます。

◎**保険料を納められないときは「免除・猶予」制度があります**
経済的な理由で保険料を納めることが困難な場合は、未納のままにせず「免除・猶予」制度の手続きをしましょう。

老齢年金受給者の皆さんへ 源泉徴収票が送られます

老齢年金を受けている人には、日本年金機構より、1月中旬から下旬にかけて「平成30年分公的年金等の源泉徴収票」が送られます。源泉徴収票は、昨年中に支払われた年金額や年金から差し引いた税額・控除の内容などをお知らせするものです。

年金のほかに収入があるなどの理由で確定申告をする人は、申告手続きの際にこの源泉徴収票が必要になります。大切に保管してください。

■ 問合せ先

・ねんきんダイヤル

☎0570(05)1165

・高崎年金事務所(代表)

☎027(322)4299

金婚式名簿

(敬称略)

氏名	夫妻	地区
篠原	峯雄 ヒフミ	福島

結婚50周年（金婚式）を迎えたご夫婦に慶祝状と記念品を贈呈しました。今年度は15組のご夫婦に申請をいただきました。おめでとうございます。



環境保健協会からのお知らせ

生ごみ処理機設置補助金をご利用ください

「生ごみ」は大きな重量を占める反面、食べ残しをなくしたり、堆肥化したり、毎日の暮らしの中のちょっとした工夫で減量効果が大きいごみです。

町では、生ごみの減量化を進めるために電動生ごみ処理機設置に対し補助金を交付しています。

- 補助金の対象 電動生ごみ処理機
- 補助金額 購入価額の2分の1で30,000円を限度

○補助の条件 一世帯につき1基
(買い替えは過去5年間に補助金の交付を受けていないこと)

○必要な書類 領収書、保証書の写し

電動生ごみ処理機
(乾燥式・バイオ式)



■問合せ先
住民課環境係
内線269



役場前庭

死亡(脂肪)ゼロ運動の啓発品として、こんにゃくをドライバーに配布しました



にこにこ甘楽

22区おたっしゃ会で高齢者交通安全教室を実施しました

冬の県民交通安全運動 12月1日～10日

まもってね 車のルールと 家ぞくのいのち

子どもと高齢者の交通事故防止、夕暮れ時の早めのライト点灯と反射材などの着用促進、飲酒運転の根絶を重点目標にした冬の県民交通安全運動で、警察、交通安全協会、町交通指導隊など多くの人が交通安全を呼び掛けました。



小幡幼稚園



福島幼稚園



新屋幼稚園



かんら保育園



小幡小学校

無事故で新年を迎えられるよう保育園、各幼稚園、各小学校に信号をイメージした3色のパンジーの鉢植えを贈り、交通安全を呼び掛けました

町発足60周年記念事業「プレイイベント」 甘楽町少年野球教室を開催しました

■社会教育課社会教育係 (☎530531)



あこがれのプロ野球選手との忘れられない一日



山川選手(右)から打撃指導を受ける甘楽中野球部員

町発足60周年記念のプレイイベント「少年野球教室」が12月8日、上毛新聞敷島球場(前橋市)で開催されました。県内の小中学生約300人がプロ野球・埼玉西武ライオンズの山川穂高選手(2018年パ・リーグMVP)、高橋光成投手(沼田市出身)、中田祥多選手、熊代聖人選手、高木渉選手の5人による技術指導を受けました。町の少年野球チームや甘楽中野球部、県内の硬式野球ボーイズリーグに所属する小中学生が、軟式・硬式それぞれ3グループに分かれ、投球、守備、打撃の基本動作をプロから熱心に学びました。



高橋投手(中央)による投球指導

参加チームキャプテンのコメント

●小幡ロイヤル・小金澤遥香さん

いろいろなことを教えてもらったので、次の練習にいかしたい。バッティング練習が楽しかった。

●福島ガッツ・飯塚壮真くん

とても楽しかった。特に山川選手のバッティングが良かった。「強く振ることを意識する」と言われたことが勉強になった。

●新屋イーグルス・井澤慶心くん

プロ野球選手に教えてもらったうれしかった。「フルスイングし、練習のときからホームランを打つことを意識する」という山川選手の話が印象に残った。

善意の紹介

◎株式会社ヨコオデイリーフーズ
(横尾浩之代表取締役社長)

・埼玉西武ライオンズの帽子630個を寄付されました。寄付された帽子は町内小学校児童全員に配布されました。

善意に深く感謝し、
広く皆さんにお知らせします



帽子のプレゼントに喜ぶ児童たち

●甘楽中野球部・松井優佑くん
あこがれの選手にいっぱい教えてもらえるよう質問をした。「たくさん食べて体を大きくすれば遠くに飛ばせるようになる」など、楽しく教えてもらい自分のためになった。